

研究タイトル:

## 日本古代寺院造営事業の研究



氏名: 徳竹 亜紀子 / TOKUTAKE Akiko E-mail: tokutake@sendai-nct.ac.jp

職名: 准教授 学位: 博士(文学)

所属学会・協会: 東北史学会, 正倉院文書研究会, 木簡学会, 東北大学国史談話会

研究分野: 日本史, 古代史

キーワード: 日本古代史, 寺院造営, 正倉院文書, 造東大寺司

技術相談  
提供可能技術:  
・歴史学の基礎知識  
・歴史資料の読解  
・歴史資料の整理・保全

### 研究内容:

#### ■ 研究内容

- ・古代国家による寺院造営事業における官司組織, 財源, 資材・技術者確保の実態解明
- ・日本古代における大規模造営事業の意義解明
- ・正倉院文書の復原と読解
- ・律令国家による東北支配政策における南東北(福島県, 宮城県南部, 新潟県, 山形県南部など)の役割

#### ■ 研究シーズ

私は大学で日本古代史を専攻し, 卒業論文で東大寺大仏殿廂間の天井画作成における画師(絵師)編成を研究しました。大学院進学後は次第に研究対象を広げて, 古代国家(おもに8世紀を対象とする)が寺院などの大規模な構造物の造営をどのように実現したのかを(1)組織, (2)財源の確保, (3)労働力と資材の確保, (4)技術者の確保などの観点から研究しています。その主な研究成果として後掲の論文①～⑤などがあります。

また, 近年では宮城県岩沼市が編纂・刊行する『岩沼市史』の調査執筆にも参加する機会を得て, 古代国家のエミシ支配や東北経営政策と, それに対して南東北が果たした役割について考えるようになりました。市史編纂事業での仕事は, 2017年度末の『岩沼市史』第1巻(通史篇1 原始・古代・中世)の刊行を以て一段落しますが, 今後も継続的に研究していきたいと考えています。

#### ■ 関連論文

- ①「天平宝字年間における法華寺金堂の造営」(『正倉院文書研究』9, 2003年)
- ②「阿弥陀浄土院造営機構の再検討」(『ヒストリア』207, 2007年)
- ③「古代の作画事業と画工司」(『古代文化』65-1, 2013年)
- ④「画所解考」(『国史談話会雑誌』54, 2014年)
- ⑤「金光明寺造物所をめぐる一試論」(『国史談話会雑誌』56, 2015年)

### 提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	